

# 成都留学体験記

2010年8月~9月



今回、電子科技大学でのスマートレーニングに参加して、多くの貴重な経験をつむことができました。まず、肌で感じたことは、文化の違いです。中国人は、自国に強い誇りを持っていて、よく、中国の文化について話していました。また、私が疑問に思っただけで質問すると、たいいていのことは答えることができました。私も、日本の文化について学ばなければならないと思いました。中国では、人と人との境界がうすいように感じられました。初対面の人でも友人であるかのように会話をしており、中国人同士の一体感というものを感じました。しかし、それは、中国人同士に限ったことではなく、私たちに対しても初めから友人であったかのように接してくれて、中国で初めて会ったのに、食事やスポーツ観戦、登山などいろんな場所に連れて行ってくれました。ただ、中国語が何もわからないので、友達がいなければほどこにも出かけることができませんでした。今回のスマートレーニングを通して、中国人と中国語を用いてコミュニケーションを図りたいという思いが強く芽生えました。



情報理工学研究科  
大学院1年 神保陽平  
中国・電子科技大学

最後に、今回行ったスマートレーニングの課題についてです。今回私たちは、レゴブロックを用いて、プリンタを製作しました。今まで、レゴブロックを使用したことがなかったので、新鮮でした。構造に欠陥があってもすぐに取り外して、組み立てなおすことができるのは便利だと思いました。ただ今回苦労したのは、プログラムでした。幸い私の研究も画像を用いたものだったので、画像を格納して、プリンタに送り、印刷するというプログラムは、順調に進めることができました。しかし、Bluetoothを用いた通信は、今まで経験したことがなかったので、多くの時間をとられてしまいました。私自身の研究でも、二つのモジュールの通信部で苦戦しており、通信の難しさを改めて実感させられました。